

令和2年度12月「学校評価アンケート」の分析「公表資料」

12月に実施した「学校評価アンケート」へのご協力ありがとうございました。本校が掲げている4つの「めざす生徒像」を実現させるための、具体的な取組についての結果と分析をお知らせいたします。

学校教育目標「豊かな心と向上心にあふれる生徒の育成」の達成に向けて

「めざす生徒像」づくり

【1. 自ら進んで学習する生徒】

・「見通し・ふり返る」で学習への意欲を感じている生徒

【2. 互いの良さを認め高め合う生徒】

・互いの良いところを見つけ伝え合うことのできる生徒

【3. 心と体を鍛える生徒】

・自律清掃で、自分の心を磨いている生徒

【4. ふるさとに誇りを持つ生徒】

・地域に誇りを持つ生徒



【1. 自ら進んで学習する生徒】

(質問5)「授業で学習内容の見通しを持ったり、ふり返ったりすることができる」

「よくあてはまる」47%、「あてはまる」44% 合計91% (生徒)

(質問6)「授業では自ら進んで課題に取り組んでいる」

「よくあてはまる」47%、「あてはまる」44% 合計91% (生徒)

授業での「見通し・ふり返り」については9月の96%より5%の減少が見られますが、その内訳を見ると「よくあてはまる」と回答している生徒が42%から47%とやや上昇しています。また、「授業では自ら進んで課題に取り組んでいる」については9月の88%より全体で3%上昇しており、「よくあてはまる」と回答している生徒は39%から47%と8%上昇しました。生徒自身が学習内容の見通しを持って授業に臨んだりふり返ったりすることができ、自ら進んで課題に取り組んでいけるようこれまで以上に有意義で深い学びのある授業づくりに取り組んでいきます。

(質問9)「学んだことをふり返ったり(復習)次の授業を見通した勉強(予習)を家で勉強している」

「よくあてはまる」48%、「あてはまる」36% 合計84% (生徒)

家庭学習については、9月の86%と比較すると84%と2%の減少となりました。アンケート項目の「学んだことをふり返ったり、次の授業を見通した」勉強を自分で行うことが、様々な課題解決に必要な力であり、学びに向かう人間力につながるものと考えられます。今後も「ガリガリノート」(自主学習ノート)の終了冊数に応じて段位認定し、励まし誉める機会を持っていきます。また、学習内容の質の向上を図るために、学級担任だけでなく、教科担任からも学習方法を示していきます。

【2. 互いの良さを認め高め合う生徒】

(質問11)「友達の良い行いや長所を見つけることができる」

「よくあてはまる」68%、「あてはまる」32% 合計100% (生徒)

(質問12)「友達に対して、思いやりの心で行動している」

「よくあてはまる」59%、「あてはまる」38% 合計97% (生徒), 96% (保護者)

生徒同士が良いところを見つけて名前やその行為を書く「とりごえもんの羽」が定着してきており、他の人の良い行いを見つけようとする生徒の意識が高くなっていることがうかがえます。しかしながらすべての生徒が名前を書かれているわけではありません。今後は定期的にテーマを変えて生徒の積極的な行動を促し、各学級でも一人一人の良いところを書き合うなど、自尊感情を育むとともに他者への思いやりが自然と生まれるような場面を設けていく取組をしていきます。

【3. 心と体を鍛える生徒】

(質問15)「自律清掃（無言、見つけ）を通し、自分の心を磨いていると感じる」

「よくあてはまる」42%、「あてはまる」47% 合計89% (生徒)

「よくあてはまる」生徒は9月の43%から42%とわずかですが減少しています。「あてはまる」と合わせると89%と9月と同じ結果でした。しかし、生徒たちの様子を見る限りは清掃活動への取り組みは大変良好です。今後も高い意識を持って清掃に取り組み、静かに自分の心を整える時間となるよう、自律清掃の意義について確認するようにしたい。また、しっかり清掃に取り組んでいることを教師側も評価するようにしていきたい。

【4. ふるさとに誇りを持つ生徒】

(質問16)「地域に愛着や誇りを持っている」

「よくあてはまる」59%、「あてはまる」30% 合計89% (生徒)

(質問13)「子どもは、地域に愛着や誇りを持っている」

「よくあてはまる」28%、「あてはまる」55% 合計83% (保護者)

「よくあてはまる」「あてはまる」と回答している生徒が9月の94%から5%減少しています。後期も地域を題材とした取組を行うことができませんでした。しかし、各教科の学習においても地域を扱った教材を扱うことも愛郷心につながると考え、今後も教育環境をしっかりと整備していきたいと思えます。また、次年度は新学習指導要領が本格実施となり、「社会に開かれた教育課程」が一つのキーワードとして掲げられているので、地域との協働をより一層充実させ、生徒たちの愛郷心を育んでいきたい。